

令和 5 年●月●日

沖縄型スタートアップ拠点化推進事業費補助金（研究開発型スタートアップ支援事業）
補助事業計画申請書

申請者住所（郵便番号・事務所所在地）

※押印不要

申請者名（名称及び代表者の役職・氏名）

沖縄型スタートアップ拠点化推進事業費補助金（研究開発型スタートアップ支援事業）
の交付を受けたいので下記の書類を添えて申請します。

また、株式会社●●は、沖縄型スタートアップ拠点化推進事業費補助金交付要綱別紙
「暴力団排除に関する誓約事項」に記載されている事項のいずれにも該当しません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ること
なっても、異議は一切申し立てません。

記

- ・ 補助事業計画書（別紙 1）
- ・ 支出計画書（別紙 2）
- ・ 経費明細表（別紙 3）
- ・ 補助事業概要（別紙 4）
- ・ 決算書
- ・ 会社情報
- ・ 上記提出書類のファイル（word、excel、PDF 形式）を保存した電子媒体（CD-R 又は DVD-R）

沖縄型スタートアップ拠点化推進事業費補助金（研究開発型スタートアップ支援事業） 補助事業計画書

1. 申請者概要

申請者名称	
法人番号：	
本社住所：〒	
担当者所属・役職・氏名（ふりがな）：	
担当者の電話番号：	担当者のメールアドレス：
ホームページURL：	
資本金（出資金）：	千円
従業員：	人
設立・創業年月日： 年 月 日	
主たる業種（日本標準産業分類、中分類）：	

2. 補助金申請額

補助金申請額	円
--------	---

3. 事業内容（研究開発から事業化まで記述のこと）

研究開発等の目的・目標・方法・内容等をわかりやすくビジュアル等で表現した資料を作成すること。

計画名：	
（1）事業の目標	
（事業化までを具体的に・定量的に記載）	
（2）事業概要	
（200文字以内で記載）	
（3）研究開発内容等	
①研究開発の概要及び背景、当該分野における研究開発動向	
<ul style="list-style-type: none"> ・当該分野の研究開発動向について、社会的・経済的・技術的背景を踏まえ、申請テーマに関連・類似する最新の技術水準や今後のトレンド、国内外の研究開発動向をもとに、申請テーマとの関係・相違点を含め、明瞭に記述すること。 ・従来技術と新技術の違いが明確にわかる研究開発全体のイメージを記載すること。 ・新技術を実現するために解決すべき研究課題を記載すること。 	
②研究開発の具体的内容	
（下記③の目標を達成するために研究開発をどのような手法で行うのか、研究項目毎に目標を達成するための研究開発手段、手法等を具体的かつ明確に記載すること）	
③研究開発の技術的目標値	
（研究項目毎に技術的目標値を記載することとし、可能な限り定量化した指標を設定すること）	

④研究開発スケジュール (別表 1 に記載)
⑤実施体制 (プロジェクトリーダー、サブリーダー等の役割や協力機関との関係、テーマにおけるそれぞれの役割について記載)
⑥研究開発等の拠点となる施設 (主たる開発等の実施場所) 施設名称： 住 所：
⑦研究開発成果及び期待される効果 【研究開発成果に係る製品等】 (研究開発成果に係る製品等の名称、概要 (用途、特徴等を記載) を製品等毎に記載) 【その他波及効果】 (研究開発成果が、他の技術や産業へ波及的に影響を及ぼし、研究開発成果が普及した場合の効果について明確に記載すること) 【新たな事業展開の可能性】 (研究開発成果が新たな事業へ展開する可能性がある場合は、その説明・根拠を具体的かつ明確に記載すること)
⑧事業化計画 (具体的かつ明確に記載すること) 【想定する国内、海外市場 (現状、今後の動向)】 【販売促進戦略】 【知財戦略】 【事業化への実現性】
⑨事業化に至るまでのスケジュール (別表 2 に記載)
(4) 事業の効果測定方法 (事業の効果をもどのように測定するのかについて、方法を記載)
(5) 特に特筆すべき内容 (他の沖縄振興策との連携による相乗効果等があれば記載)
(6) 高付加価値企業への成長・変革に向けた会社の将来ビジョン
※ 経営デザインシートの提出で代替できる。代替する場合は下記のとおり提出。 1 は提出が必須。2, 3, 4, 5 の提出は任意。 1. 事業が一つの企業用シート (単一事業会社等向け) 2. 作成補助シート 1 3. 作成補助シート 2

4. 作成補助シート3

5. 作成補助シート4

※ 経営デザインシートの詳細は下記 URL で確認でき、様式のダウンロードも可能。

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/index.html

4. その他

(1) 過去の経営活動実績

(法人設立後の資金調達状況等の経営活動実績を記載。本事業に申請する事業の他、他事業についても可能な限り記載)

(2) 補助対象事業要件の妥当性

(公募要領「第2_1. 補助対象事業」の要件に適合しているかについて記載)

(3) 補助対象者要件の妥当性

(公募要領「第2_2. 補助対象者」の要件それぞれに適合しているかについて記載)

(別表 1)
研究実施スケジュール

実施内容	令和5年									令和6年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. ○○の設計		→										
2. ○○の開発				→								
3. ○○の評価										→		
4.												

(別表 2)

※製品等が複数ある場合は、表を複製して製品等ごとに記載すること

製品等の名称						
開発事業者						
想定するサンプル出荷先						
スケジュール	事業年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
	サンプルの出荷・評価	→				
	追加研究	→	→			
	設備投資		→	→		
	製品等の生産			→	→	→
	製品等の販売					→
	特許出願	事業終了時点から事業化を達成するまでのスケジュールを記載すること 以下の項目は任意記載 ・追加研究・設備投資・特許出願・出願公開・特許権設定・ライセンス付与				
	出願公開					
	特許権設定					
	ライセンス付与					
売上見込	売上高 (千円)			*,***	*,***	*,***
	販売数量			**台	***台	*,***台
	売上高の根拠	・想定される市場、売上高の積算根拠及びそれが達成できる理由について記載 ・想定されるライセンス先、売上高の積算根拠及びそれが達成できる理由について記載				

(別記)

類似計画等状況説明書

事業名称	
事業主体 (関係省庁等)	
テーマ名	
補助金額・委託額	
研究期間	
研究開発内容・研究開発型スタートアップ支援事業申請内容との相違点	
事業成果・実績	

※内閣府その他の府省庁、独立行政法人等による研究開発事業において、「過去5年以内に実施済み」、「現在実施中」、「現在申請中」又は「今後申請予定」のものについては、本申請内容と類似した、又は関連した研究開発内容と思われるもの又はその恐れがあるものについて、類似計画等状況説明書を作成し、それぞれの相違点について説明すること。

※複数案件がある場合は、案件ごとに類似計画等状況説明書を作成すること。

※提案後に類似計画等が発覚した場合には、採択や補助金交付決定等を取り消す場合がある。